令和 5 年 10 月吉日

産婦人科施設　責任者（母体保護法指定医）各位

令和 5 年度こども家庭庁行政推進調査事業費補助金
成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業
「経口妊娠中絶薬導入後における人工妊娠中絶の
実態調査及び適切な情報提供等に関する研究」班
代表研究者　中井章人　（日本産婦人科医会副会長）

人工妊娠中絶実態調査に関するご協力のお願い

本年 4 月 28 日に、経口人工妊娠中絶薬「メフィーゴパック」が厚生労働省により製造販売を承認されました。メフィーゴパック承認以前の本邦における人工妊娠中絶術は、これまでに安全に施行されていることが示されていますが、メフィーゴパック承認後の調査はまだ行われていません。

そこで、こども家庭科学研究費の補助を受け、全国の母体保護法指定施設を対象に人工妊娠中絶実態調査を行い、人工妊娠中絶の方法とその安全性について検証することにいたしました。なお、本研究は日本産婦人科医会（石渡勇会長）の賛同と協力を得て、行わせて頂きますことを申し添えます。

つきましては、令和 5 年 5 月から 10 月まで 6 か月間に行われた妊娠 12 週未満の人工妊娠中絶に関して、ぜひ同封のアンケート調査にご回答いただきたくお願い申し上げます。調査結果は施設情報をマスクし、報告書等を通じ公表させて頂きます。なお、アンケート調査への回答および用紙の提出によって、本研究への協力についてご同意いただいたものとさせていただきます。同意の撤回につきましては、下記問い合わせ先までご連絡ください。

FAX 返信先：03-6862-5693　締め切り：令和 5 年 11 月 20 日（月）
＊FAX がつながりにくい場合は FAX：03-3269-4730 へご返送ください

問い合わせ先：日本産婦人科医会
事務局担当：飯塚
EMAIL：kiizuka@jaog.or.jp
TEL：03-3269-4739
FAX：03-3269-4768, 03-3269-4730